

**第 7 回 長野市大規模施設の長寿命化改修事業に係る
実施設計技術協力事業者選定委員会 会議録**

1 日 時 令和 6 年 8 月 27 日（火） 午後 1 時 30 分から午後 3 時まで

2 場 所 ビッグハット 会議室 1

3 出席者

(1) 委員 5 名

横田典久 委員長、高村秀紀 副委員長、今井義明 委員、佐々木武信 委員、
鈴木秀規 委員

(2) 事務局及び市関係者 11 名

4 議 事

(1) 開会（事務局）

(2) 委員長あいさつ（横田委員長）

(3) 議事

（事務局）

議事に移ります。

議事進行は、「選定委員会設置要綱」の規定により横田委員長にお願いいたします。

（横田委員長）

それでは、議事の進行を務めさせていただきます。

円滑な議事の進行にご協力をいただきますよう、お願いいたします。

ア 基本設計の概要について（事務局）

資料 1、資料 2 について説明

（横田委員長）

ただいま、基本設計の内容について説明がありました。

これに関しまして、ご意見、ご不明な点等ございましたらお伺いします。

（A委員）

2 階真ん中のだれでもトイレは V I P ラウンジを利用している方が使うのか、名称のとおりだれもが使ってもいいと設定しているのか。

（事務局）

だれもがお使いいただけます。

(横田委員長)

その他何かご意見ありますでしょうか。

(B委員)

3点お願いします。

まず、犀川に近いので浸水エリアになっている可能性があると思いますが、今回おそらく電気室は地下にあると思いますが更新にあたって浸水対策を基本設計の中で検討されているかどうかというのが1点です。

それから大きな屋根について、葺き替えということですが、工事中の雨のリスクがあると思いますが、カバー工法等含めて比較検討された結果が葺き替えという選択をされた理由について、どんな検討をされたか教えていただきたい。

3点目としまして、今回機能向上ということがあると思いますが、これからの時代、CO₂の削減についてどのようにお考えかと、今回LED照明の改修がありますが、基本設計の検討の中で例えば1次エネルギーの消費量の関係、BEIの数値を現状と改修後の算定をされているとしたらその数値を教えてください。

(事務局)

1つ目の質問につきまして、川に近いということですが、ハザードマップ上ではL2という千年に一度の浸水想定でいきますとこの辺は0.5から3メートルという浸水想定になっておりますが、L1という百年に一度の浸水想定ですと、浸水は0メートルということになっております。今回はその百年に一度の想定で計画していますので、地下への浸水ということについて長寿命化改修では特に検討はしておりません。

続きまして屋根の葺き替えのご質問についてですが、基本設計においても葺き替えですと工事期間の雨水の漏水ということもありますので、カバー工法を検討しました。構造計算書でカバー工法分の荷重まで載せられない、載せた場合内部の吊り物の荷重制限がかかるなど、運用にも多少なりとも影響が出るという結果が出たため、今回はカバー工法ではなく、下地の腐食の有無も考慮して葺き替えとしました。工事中に雨が降ったらということですが、全部撤去してしまうのではなく、撤去しながらすぐ追いかけて張る方法や、シートで養生する方法で施工していくことを考えております。

省エネの関係についてですが、実際省エネについて機器の全部を今回改修しないため、計算は行っておりません。

(横田委員長)

他にご意見が無いようであれば、この基本設計に基づいて、事業者より、提案を求めています。

イ 実施要領（案）と審査基準（案）について（事務局）

資料３、資料４について説明

（横田委員長）

ただいま、実施要領（案）と審査基準（案）について、説明がありました。これに関しまして、ご意見、ご不明な点等ございましたらお伺いします。

（C委員）

資料４の４ページ、５－４環境への負荷の２つ目、ライフサイクルＣＯ２削減について、カッコ内のところが「費用」と書かれていますが、そうするとライフサイクルＣＯ２ではなくライフサイクルコストと間違えた提案になってしまうと思うので、ライフサイクルコスト削減はもちろん大事ですが、誤解のないように表現した方がよいと思いました。

それと前回の提案だと、照明や設備更新をあまりしないため、運用時の提案はしにくいと思います。施工中のＣＯ２排出量削減や、ＣＯ２排出の少ない資材を使うというようなことが提案の中に具体的に盛り込めるような表現になってもいいと思いました。

それからメンテナンスの頻度を下げることによってＣＯ２削減になるのであれば、そういったことも具体的に定量化するとか、ライフサイクルＣＯ２は大事なので、積極的に素晴らしい提案が出るような表現になるといいと思いました。実施要領では１６ページが該当すると思いますが、そのあたりも、詳細に書いていい提案が出ようをお願いしたいと思いました。

（横田委員長）

これに対して事務局からどうですか。

（事務局）

実施要領ではライフサイクルＣＯ２の削減に向けて、更新機器の耐用年数と維持管理について具体的に記述することで、効率的なメンテナンスを実施し、更新機器の長寿命化を図ることが、ライフサイクルＣＯ２の削減につながるという意味で記載しています。ご指摘いただいたとおり、前回あまり期待した内容の提案がなかったと思います。基本設計においては機器の効率化により省エネ効果を見込んではおりますが、さらなる省エネ化というような文言を追加して提案を求めたいと思います。

また、ご指摘いただいたとおり、ライフサイクルＣＯ２として、製造から施工段階、廃棄までのリサイクル率に配慮された機器を選定するなどの提案ができるように記述を修正して、委員の皆様にご報告させていただければと思いますがいかがでしょう。

（横田委員長）

では実施要領と審査基準両方とも修正するということですか。

（事務局）

公告までに修正し、委員の皆様に改めてお諮りさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

（横田委員長）

よろしいでしょうか。

各委員了解

（事務局）

一つ相談させていただきたいのですが、今回第1期工事の設備改修だけではCO₂削減があまり期待できない工事内容になっています。

例えば基本設計には第2期工事ではどんな設備更新をするかを記載しているので、そちらの提案を求めることも可能か皆様のご意見をいただきたいと思います。

（横田委員長）

第2期工事は今回の事業者に関係ないですか。

（事務局）

ありません。

「今回の工事ではこうするが、第2期工事のこの設備をこうするとCO₂削減になります。」といった提案があった時に加点していいのかどうか。

いかがでしょうか。

（横田委員長）

今の事務局からの提案ですがいかがでしょうか。

（事務局）

説明不足がありました。第2期工事で空調設備等の自動制御設備の更新を考えております。機器単体でのCO₂削減には限界があると思いますので、第1期工事の機器にこういった付加のセンサーをつけて、それを第2期工事の自動制御設備で取り入れて機器をコントロールすればもっとCO₂削減が可能になるというような提案があるかというように考えています。

（横田委員長）

第1期でやった工事が第2期でやる工事を縛ってしまうということにはな

らないということですか。委員の皆様いかがでしょうか。

(B委員)

C O 2 削減については第 2 期工事で完成するということだと思いますが、第 1 期工事で例えば将来的な自動制御に備えたものを組み込む提案があった時に、工事のメーカーを絞ってしまうとしたら、課題があるという気はしますが、できることは事前にやっておき、手戻りがないようにすることで、第 2 期工事の施工者を絞らない形で、もしくはメーカーを絞らない形で提案を求めるということはあると思いました。

(C委員)

今回の第 1 期工事で何か提案できるか、何か第 2 期工事に繋がるようなことができるか。やはり設備を変えることによってそれに伴って省エネ化、現状の設備で何か制御をかけるというのはなかなか難しいと思いますがどうでしょうか。

(事務局)

それであれば限定的になってしまうと思いますので第 2 期工事は絡めずに、第 1 期工事単独での提案を求めるようにします。

(C委員)

具体的に何か想定されるものがあれば、それを実施要領に記載したうえで、提案してもらう方がいいと思います。

(A委員)

第 1 期だけになるとあまりよい提案が期待できないという懸念があるということですよ。

(横田委員長)

委員の皆様のご意見を上手に表現していけないものですか。

(事務局)

事務局で案文を作成しお示しさせていただきます。まずは第 2 期工事も提案可能な文言で検討してみたいと思います。あくまでも第 2 期工事のメーカーを縛らないような提案を求められるか検討させていただき、改めてご提案させていただきます。

(横田委員長)

事務局において委員の皆様のご意見、特に第 2 期工事でメーカーが限定されてしまうということがないように確認したうえで、改めて委員の皆様にお諮

りするということでよろしいでしょうか。

その他に何かご質問、ご意見ございますか。

私から、週休 2 日は工期全体でみていますか、月単位ではないということ
でよろしいですか。

(事務局)

今のところは月単位では見ていません。

(横田委員長)

工期全体の中で 4 週 8 休になっているということでしょうか。

(事務局)

はい。

(横田委員長)

他に何かございますか。

それでは、ただいまのご意見等を反映させた実施要領を事務局で作成して、
改めて委員の皆様にお諮りし、そのうえで皆様からの承諾をいただいたところ
で、この実施要領（案）、審査要領（案）について確定ということにさせてい
ただきたいと思います。

ウ 現地確認（事務局）

(横田委員長)

皆様、現地確認ありがとうございました。

議事を再開します。

現地確認を行いました。ご意見、ご不明な点などがありましたら、お伺
いしたいと思います。

(B委員)

最初に見せていただいたトイレで床が 35 センチスロープで上げるようにな
っていますが、例えばシステムトイレを採用し、床上配管とすることは勾配的
に難しいという判断ですか。

(事務局)

中央に耐震壁があり、配管を通せる箇所が今ある出入口だけになっていま
す。そこまで壁沿いにライニングをつけて配管するとなると、なかなか難しい
ためスロープを設けて床下配管としました。

(B委員)

350 ミリとしている床レベルをそれ以上上げる事は難しいですか。

(事務局)

設計の中ではこの高さを確保するようにしております。

(横田委員長)

その他に何かございますか。

(A委員)

先ほど見せていただいた冷却塔のところの防水はやりかえですか。

(事務局)

今第1期工事で予定しているは、大屋根の四隅にある陸屋根のステンレス防水の改修のみです。冷却塔下の防水改修は、第2期工事だと思っておりましたが、防水の施工性がよいとすれば委員ご指摘の通り冷却塔がなくなったところでそこだけでも第1期でやったほうがよいのではないかと考えております。実施設計の中で検討します。

(横田委員長)

よろしいでしょうか。

それでは、本日の議事につきましては以上になります。

全体を通して何かご質問、ご意見等ありますでしょうか。

よろしければ、以上で議事を終了いたします。

円滑な議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しします。

(4) その他 (事務局)

(5) 閉会 (事務局)

以上